# 卒業セミナーⅡ

科目ナンバリング　SEM-402
選択必修　　2単位

筒井　史緒

1. 授業の概要（ねらい）

グローバルであるとは、英語を話せることとは関係ありません。様々な価値観をもつ他者との相互理解という困難な事業を、深い関心と敬意をもってたゆまず行うことです。また自己の価値観が当たり前でないことを知り、自らを俯瞰し、知りつづけることです。哲学対話は、自由に聴き、話し、考える営みを通して、自己および他者と対話し、「当たり前」のなかに隠された思い込みや独断にゆきあたりながら、生きるための力＝自由を獲得するプロセスです。このプロセスを通じ、自己を俯瞰し、自らの意志で人生を選択し、他者と理解しあう、真にグローバルなマインドを養います。年に数回、アートやボディワークなどを中心としたプロフェッショナルのゲストによるワークショップを開催することで、単なる思考ゲームに終わらない、事実に根差した深い感性による思考を養います。

2. 授業の到達目標

他者と自己への敬意と関心をもつ。
当たり前だと思っている思考の前提を問う。
自分の意見を自分で感じ、知り、その理由を考え、それを他者に理解しやすいように表現する。
自己の枠をとりはらってゆく。

3. 成績評価の方法および基準

授業の参与度によって評価。

4. 教科書・参考文献

参考文献
梶谷真司　『考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門 』　幻冬舎新書

5. 準備学修の内容

ふだんから自己を俯瞰し、自己の思考を問い直し、当たり前から自由になり、枠をとりはらうことができないか、試行錯誤しつづけること。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　哲学対話実践
【第2回】　哲学対話実践
【第3回】　哲学対話実践
【第4回】　哲学対話実践
【第5回】　哲学対話実践
【第6回】　哲学対話実践
【第7回】　哲学対話実践
【第8回】　哲学対話実践
【第9回】　哲学対話実践
【第10回】　哲学対話実践
【第11回】　哲学対話実践
【第12回】　哲学対話実践
【第13回】　哲学対話実践
【第14回】　哲学対話実践
【第15回】　哲学対話実践、まとめ